



ら び っ く La・BOOK

11月号

No.17

明科図書館の企画展示

おはなしかぼちゃ

秋の収穫祭ハロウィンにちなんで『みんなであつくる



う！大きな大きなおはなしかぼちゃ』と題し、絵本の展示や来館した幼児や小学生のこどもたちに、オレンジや黄色の色紙をかぼちゃの型紙に切った紙に「おすすめ本」を書いて壁面に貼ってもらう企画をしました。

また、おはなし会（10/26）では、館内や玄関入口に展示した、大小10個のかぼちゃや重さ40kg以上もある特大かぼちゃにシールで顔を貼ってもらい、ユニークなおぼけ



かぼちゃを作り、ハロウィンの行事を楽しみました。

<お知らせ>

明科図書館ひまわり講座⑤

日時 2013年11月30日（土）

午前10時～12時

内容 『モールでかわいいマスコットをつくろう』

募集 15人

「図書館川柳」入賞作品

【一般の部】
最優秀賞

あの本のあの一行が道しるべ

優秀賞

・老女でも入った途端に文学少女

・図書館で育てられたよ郷土愛

・みらいきて老いてますます脳みかく

佳作

・図書館はいろんな世界の出入り口

・寝るんじゃない！ここは読むとこ借りるとこ！

・返す日になって慌てて読みはじめ

・図書館は夢いっぱい宝箱

・読書家をきどったふりして涼んでる



【中学生以下の部】
最優秀賞

くもつたらとしよかんいこうはれるから

優秀賞

・金貯めて買った小説 図書館に

・図書館で泳いでみたよ本の海

・としよかんでちいさなゆめがひろがるよ

佳作

・としよかんでほんのせかいへさあいこう

・クーラーが効いて勉強はかどるな

・としよかんはみんなしずまるなぞのばしよ

・本開きそこにあるのは未知の夢

・図書館で宝の山をみつけたよ



10月貸出ランキング

一般書

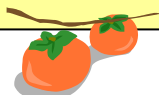
- 1 世界地図の下書き／朝井リョウ
- 〃 爪と目／藤野可織
- 〃 ナミヤ雑貨店の奇蹟／東野圭吾
- 〃 政と源／三浦しおん
- 5 ホテルローヤル／桜木紫乃
- 〃 夢幻花／東野圭吾
- 7 祈りの幕が下りる時／東野圭吾
- 〃 北の街物語／内田康夫
- 〃 白ゆき姫殺人事件／湊かなえ
- 〃 空飛ぶ広報室／有川浩
- 〃 七つの会議／池井戸潤
- 〃 パラドックス 13／東野圭吾

児童書

- 1 かいけつゾロリシリーズ／原ゆたか
- 2 バムとケロのシリーズ／島田ゆか
- 3 からすのやおやさん／かこさとし

AV資料

- 1 レッドクリフ Part2／ジョン・ウー監督
- 2 崖の上のポニョ／宮崎駿監督
- 〃 西の魔女が死んだ／長崎俊一監督
- 〃 ホビット／ピーター・ジャクソン監督
- 〃 レッドクリフ Part1／ジョン・ウー監督



本のソムリエ（職員）おすすめ本

一般書 『〇に近い△を生きる』

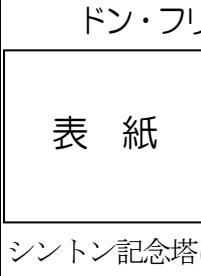


表紙

鎌田實／ポプラ新書

「正論」や「正解」という〇に縛られず、「別解」という〇に近い△の道を探そうという鎌田先生の熱いお話です。別解とは、白か黒でない「灰色＝あいまい」のすすめではなく、自分自身を生かす別の道、あるいは“まあまあ”の正解をよしとする生き方で、様々な人達の体験や政治経済、原発問題などを例に挙げています。チェルノブイリや震災の現場に立ち、行動してきた先生の「別解力」は思いやりにあふれています。「がんばらない」としながら、がんばっている姿に励まされました。（豊科図書館一般書担当）

児童書 『ドングリ さがして』



表紙

ドン・フリーマン&ロイ・フリーマン／BL出版

ワシントン市の朝早く、灰色リスのアールはドングリを探しに出かけました。冬がすぐそこまできています。夏にすっごく大きなドングリを埋めたはずだけど…どこだっけ？ワシントン記念塔に向かったアールですが、今日は特別なお祝いがあるみたい。たくさんの人の中、ドングリを見つけることはできるのでしょうか？ドン・フリーマンの遺したスケッチを引き継ぎ、息子のロイ・フリーマンが完成させた絵本です。秋のワシントン市が美しく描かれています。（豊科図書館児童書担当）

私と図書館



よくよく考えてみると、図書館には縁がないまま生きてきた。なぜなら、本は書店で買うか、立ち読みするものだとずっと思ってきたからだ。お陰で本達は増殖し続け、本棚は一度読んだ本と、一度も読まれない可哀想な本で溢れていた。

ところが、ある日突然増殖は止まった。明科に「ひまわり」がオープンし、新設の図書館というもの、興味本位で覗いてみた日のことである。私のように特に読みたい本もなく、手当たり次第に読む者に図書館はうつつけだと気づいたのだ。

借りた本は返さなければならぬから絶対に増殖しないし、面白くなければ読まずに返却しても気にならない。書店には申し訳ないが、以来ほとんど本は買わないし、行く機会も随分と減った。目下の悩みは、増殖を止めた我が家の本の取扱いと、年のせいか読むはじから忘れていくことである。

ともあれ、今暫くは市内にある五つの図書館に、気の向くままに出没し、存分に乱読させてもらおうと思う。

（50代 男性）

編集・発行・お問い合わせ



- | | |
|-------|----------|
| 中央図書館 | ☎84-0111 |
| 豊科図書館 | ☎71-4022 |
| 三郷図書館 | ☎76-3078 |
| 堀金図書館 | ☎72-5796 |
| 明科図書館 | ☎62-1122 |

図書館ホームページ（蔵書・資料の検索もできます）
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>

※編集後記※

「読み方で自分の生き方が出る」と、朗読協力者研修会の講師若命明子（フリーアナウンサー）さんが言われた。確かに同じ文章を読んでも、読み手によって味が異なる。

子どもたちへの読み聞かせも同じだ。殊に、親の読み聞かせは、親の生き方を伝えるいい機会だと思ふ。

